

三菱電機株式会社 冷熱システム製作所 生きもののリスト

調査期間・範囲について

調査期間: 2021年5月、7月、11月、2022年2月(鳥類)
調査範囲: 冷熱システム製作所 構内
調査方法: 目視

調査リスト

■鳥類

No.	科名	種名	学名	重要種				外来種		
				文化財	保存法	環境省RL2020	和歌山県RDB2012	外来生物法	生態系被害防止外来種	和歌山県外来
1	ハト科	カワラバト(ドバト)	<i>Columba livia</i>							
2		キジバト	<i>Streptopelia orientalis</i>							●
3	タカ科	トビ								
4	カラス科	ハシボソガラス	<i>Corvus corone</i>							
5		ハシブトガラス	<i>Corvus macrorhynchos</i>							
6	ツバメ科	ツバメ	<i>Hirundo rustica</i>							
7	ヒヨドリ科	ヒヨドリ								
8	メジロ科	メジロ	<i>Zosterops japonicus</i>							
9	ムクドリ科	ムクドリ	<i>Spodiopsar cineraceus</i>							
10	ヒタキ科	ツグミ								
11		イソヒヨドリ	<i>Monticola solitarius</i>							
12	スズメ科	スズメ	<i>Passer montanus</i>							
13	セキレイ科	ハクセキレイ	<i>Motacilla alba</i>							
14	アトリ科	カワラヒワ	<i>Chloris sinica</i>							
-				0種	0種	0種	0種	0種	0種	1種

注) 種名及び分類は、「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 令和3年度生物リスト 河川環境データベース」(水情報国土データ管理センター、令和3年)に準拠した。

【重要種の選定基準】

- 文化財保護法** 「文化財保護法」(1950年、法律第214号)による指定種
 特天: 国指定特別天然記念物、国天: 国指定天然記念物
- 種の保存法** 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(1992年、法律第75号)による希少野生動植物種
 国際: 国際希少野生動植物種、国内: 国内希少野生動植物種
- 環境省RL2020** 「環境省レッドリスト2020」(2020年、環境省)の掲載種
 EX: 絶滅、EW: 野生絶滅、CR+EN: 絶滅危惧Ⅰ類、CR: 絶滅危惧ⅠA類、EN: 絶滅危惧ⅠB類、VU: 絶滅危惧Ⅱ類、NT: 準絶滅危惧、DD: 情報不足、LP: 絶滅のおそれのある地域個体群
- 和歌山RDB2012** 「保全上重要なわかやまの自然—和歌山県レッドデータブック—【2012改訂版】」(2012年、和歌山県)の掲載種
 EX: 絶滅、CR+EN: 絶滅危惧Ⅰ類、CR: 絶滅危惧ⅠA類、EN: 絶滅危惧ⅠB類、VU: 絶滅危惧Ⅱ類、NT: 準絶滅危惧、DD: 情報不足、SI: 学術的重要

【外来種の選定基準】

- 外来生物法** 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」(2004年、法律第78号)による特定外来生物
 特定: 特定外来生物
- 生態系被害防止外来種** 「生態系被害防止外来種リスト(我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト)」(2015年、環境省)に掲載されている国外外来種
 外緊: 国外由来の緊急対策外来種、外重: 国外由来の重点対策外来種、外総: 国外由来の総合対策外来種、外産: 国外由来の産業管理外来種
- 和歌山県外来** 「和歌山県の外来種リスト」(2016年、和歌山県)の掲載種のうち、カテゴリ—指定種
 外防: 防除対策外来種、外重: 重点啓発外来種、外産: 産業利用外来種、●: 無印
 カテゴリ区分「無印」とは、同リストにおいて、「その他3つのカテゴリに該当しないもの、もしくは判定不能なもの」と定義されている種。
 調査結果の確認種リストでは、便宜上、「●」のマークで示すこととした。